

# ひろしまハンドボール



hiroshima handball

No 105.  
2013. 6. 1

発行 広島県ハンドボール協会  
 発行人 山本 一  
 〒731-0192  
 広島市安佐南区祇園5丁目37-1  
 広島経済大学教育・学習支援センター内  
 Tel 082-871-9345  
 Fax 082-871-1021  
 E-mail:os-taka@hue.ac.jp



## 成田・増田初の代表入り 日韓定期戦 男女とも惜敗

2016年のリオデジャネイロ五輪を見据え、戦力の底上げを図る新生日本。韓国と2年ぶりとなる定期戦が5月28日、韓国・ソウルで行われ、日本代表メンバーの男子に湧永製菓から成田幸平、メイプルレッズからは増田寛那がそれぞれ初めて選ばれた。

2人はともに2年目のシーズンを迎えたばかり。初のフル代表メンバーとして、タフな韓国を肌で感じ取り、さらなる成長につないでもらいたいものだ。

なお、試合は男子が24-29で敗れ、前半1点リードした女子も23-26で逆転負けした。男子の清水、女子の栗山両監督がどのようにチームを修正、強化していくか、今後に期待したい。

## 城北・清水ヶ丘・桜ヶ丘 初戦突破

### 中国高校選手権

#### 男女とも山口勢優勝 5年連続

第64回中国高校選手権は5月11、12日、広経大石田記念体育館などで開かれ、男子は岩国工が2年連続20度目、女子は高水が6年ぶり2度目の優勝を飾った。

山口勢の男女同時優勝は5年連続33度目、男子は連勝記録を「41」に伸ばした。

広島勢の男子は城北がベスト8入り、女子は清水ヶ丘と桜ヶ丘が8強に進出したにとどまった。

目を引いたのは桜ヶ丘の健闘ぶり。初戦の松江南戦は前半5点のリードを奪われたが、後半盛り返して1点差で逆転勝利した。ブロック大会で久しぶりに勝利の喜びをかみしめた。6月のインターハイ予選を兼ねた県総体で、この貴重な経験をどう生かすか注目される。

男女とも準決勝は山口、岡山で占められ、男子では総社が準優勝と気を吐いた。

#### 《中国高校選手権 成績》

##### 【男子】

##### ▽1回戦

岩国工	32	(17-4, 15-0)	4	修道
天城	32	(17-4, 15-9)	13	倉吉東
岡山理大付	25	(12-11, 13-12)	23	呉工
下松工	27	(13-5, 14-7)	12	松江工
総社	38	(19-6, 19-5)	11	境
江津	23	(11-10, 12-12)	22	広
城北	18	(7-3, 11-9)	12	松江南
岩国	27	(20-3, 7-9)	12	岩国総合技術

##### ▽準々決勝

岩国工	29	(16-8, 13-3)	11	天城
下松工	26	(11-11, 15-7)	18	岡山理大付
総社	32	(16-6, 16-7)	13	江津
岩国	28	(14-7, 14-10)	17	城北

##### ▽準決勝

岩国工	32	(17-5, 15-8)	13	下松工	
総社	25	(10-13, 10-7)	3-1, 2-3	24	岩国

##### ▽決勝

岩国工	24	(12-9, 12-6)	15	総社
-----	----	--------------	----	----

##### 【女子】

##### ▽1回戦

岩国商	20	(10-4, 10-5)	9	倉敷中央	
松江東	12	(5-4, 7-4)	8	賀茂	
清水ヶ丘	22	(8-6, 14-8)	14	倉吉東	
華陵	19	(8-6, 5-7)	4-1, 2-3	17	玉野光南

米子西	19	(11-4, 8-9)	13	松江市女
高水	40	(25-4, 15-5)	9	山陽
操山	20	(11-6, 9-10)	16	米子東
桜ヶ丘	20	(9-14, 11-5)	19	松江南

##### ▽準々決勝

岩国商	39	(18-2, 21-6)	8	松江東
華陵	28	(15-5, 13-2)	7	清水ヶ丘
高水	34	(18-5, 16-4)	9	米子西
操山	28	(19-7, 9-9)	16	桜ヶ丘

##### ▽準決勝

華陵	16	(8-5, 8-10)	15	岩国商
高水	29	(18-7, 11-7)	14	操山

##### ▽決勝

高水	22	(15-7, 7-8)	15	華陵
----	----	-------------	----	----

#### 《ジャパントーナメント 男子中国予選 成績》

##### ▽予選リーグA組

日新製鋼 28 (11-12, 17-13) 25 徳山クラブ  
 S. H. C 24 (11-12, 13-10) 22 徳山クラブ (岡山)

日新製鋼 26 (16-4, 10-13) 17 S. H. C  
 \*順位 ①日新製鋼 2勝 ②S. H. C 1勝 1敗 ③徳山クラブ 2敗

##### ▽予選リーグB組

H.C.岡山 18 (7-9, 11-9) 18 下松クラブ  
 H.C.岡山 47 (26-3, 21-8) 11 海自江田島  
 下松クラブ 39 (21-6, 18-11) 17 海自江田島

\*順位 ①H.C.岡山 1勝 1分け ②下松クラブ 1勝 1分け ③海自江田島 2敗 (1, 2位は得失点差による)

##### ▽3位決定戦

下松クラブ 26 (14-8, 12-6) 14 S. H. C

##### ▽決勝

H.C.岡山 31 (16-8, 15-9) 17 日新製鋼

#### 《ジャパントーナメント 兼全国クラブ選手権西地区女子中国予選》

##### ▽リーグ戦

H.C.岡山 28 (13-8, 15-11) 19 徳山クラブ  
 徳山クラブ 25 (14-8, 11-15) 23 岡山クラブ  
 H.C.岡山 30 (14-10, 16-8) 18 岡山クラブ

\*順位 ①H.C.岡山 2勝 ②徳山クラブ 1勝 1敗 ③岡山クラブ 2敗

#### 《全国クラブ選手権西地区大会男子中国予選》

##### ▽リーグ戦

総社クラブ 19 (7-8, 12-9) 17 A.W.C (広島)

SFIDA 山口 30 (14-12, 16-8) 20 A.W.C

SFIDA 山口 25 (10-11, 15-12) 23 総社クラブ

\*順位 ①SFIDA 山口 2勝 ②総社クラブ 1勝 1敗 ③A.W.C 2敗

ジャパントーナメントと全国クラブ選手権西地区大会の中国予選が5月18、19日に日新製鋼呉体育館と呉市体育館で開かれた。

ジャパントーナメント男子の部の日新製鋼が2位になり、8月11日から長崎県佐世保市などでの本大会出場を決めた。

全国クラブ選手権西地区大会の男子予選に出場したA.W.Cは2敗したが、7月6、7日に鹿児島市国分体育館などでの本大会に出場する。

ジャパントーナメントにはほかに男子はH.C.岡山と下松クラブ、女子にはH.C.岡山が代表権を獲得した。

また、全国クラブ選手権には男子がSFIDA山口と総社クラブ、女子は徳山クラブと岡山クラブがそれぞれ出場することになった。

### ジャパントーナメントに日新製鋼 全国クラブにはA.W.Cが出場

#### メイプルと甲田中男女、修道男子が出場 近県中学校交流大会

22回目を迎えた近県中学校交流大会は大型連休中の5月3日から3日間、麒麟ビレッジ周南総合スポーツセンターなど4会場で行われた。

中国地区はもとより、四国、九州から多くの中学校、クラブチームが参加して20分のハーフゲームをこなした。

広島県からはメイプルレッズジュニアスポーツクラブが男子のほか女子も参加したほか、甲田中男女、修道中男子が参加して連日、ハードなゲームを戦った。

この大会は試合の間合いがなく、次々と試合の進行が図られるユニークさが特徴で、息つく間もなくコートは次のカードに引き継がれる。

# 広島大、男女で明暗

## 男子2部降格・女子1部昇格

### 修道大は2部昇格

中四国学生選手権春季リーグは5月2日から5日間、広経大石田記念体育館で開かれた。男子は3部、女子は2部に分かれ、28チーム（女子の香川、高知、徳島大合同を含む）が参加。1部男子は高松大が18シーズン連続18度目、女子1部は環太平洋大が7シーズン連続9度目の優勝を飾った。

広島勢では広島大の男女で明暗が分かれた。男子は6位で2部に降格、女子は2部1位で1部昇格を果たした。また、男子3部の修道大は1位で2部に昇格することになった。

個人賞では最優秀選手賞に男子3部で青木（修道大）、女子2部で藤目（広島大）が選ばれ、得点王は男子1部で中田（広島大）が35点、女子2部で梅木（広島大）が37点でそれぞれ輝いた。ベストセブンには男子で徳永（広経大）が入った。

なお、8月9日から熊本県立総合体育館などでの西日本インカレには男子が高松大、環太平洋大、広経大、愛媛大、岡山大、女子は環太平洋大と環太平洋大短大部が出場する。

中四国学生春季リーグ

#### 《個人賞一覧》

* 男子 *		* 女子 *	
<b>■最優秀選手賞■</b>			
・1部 川野 大地 (高松大)	・2部 青木 健吾 (岡山大)	・1部 古田 加奈 (環太平洋大)	・2部 藤目 愛美 (広島大)
・3部 青木 悠 (修道大)			
<b>■得点王■</b>			
・1部 中田 圭祐 (広島大) 35点	・2部 福原 泰輔 (山口大) 37点	・1部 吉川 英里 (岡山大) 33点	・2部 梅木 美紀 (広島大) 37点
・3部 大澤 拓馬 (高知工大) 43点			
<b>■ベストセブン■</b>			
GK 又吉 裕喜 (高松大)	CP 橋口 仁人 (高松大)	GK 名所 早苗 (環太平洋大)	CP 石川 有香 (環太平洋大)
中村 祐介 (高松大)	山本 萌生 (高松大)	亀山 千尋 (環太平洋大)	亀川 愛 (環太平洋大)
芝 洋俊 (環太平洋大)	土居 佑輔 (環太平洋大)	山田 若菜 (環太平洋大短大)	北川 美優 (環太平洋大短大)
徳永 慧人 (広経大)		安川沙弥香 (愛媛大)	
<b>■ベストレフェリー賞■</b>			
三宅正太郎・藤本 浩輝 (岡山大)			

#### 【男子】

▽1部

高松大	24	(10-7, 14-8)	15	愛媛大
広島大	23	(11-13, 12-7)	20	松山短大
環太平洋大	30	(14-9, 16-16)	25	広経大
高松大	38	(20-9, 18-15)	24	広島大
環太平洋大	33	(14-10, 19-13)	23	愛媛大
松山短大	17	(8-4, 9-11)	15	愛媛大
高松大	35	(20-7, 15-11)	18	広島大
環太平洋大	25	(11-9, 14-5)	14	松山短大
環太平洋大	19	(10-8, 9-11)	19	愛媛大
高松大	21	(8-7, 13-7)	14	松山短大
環太平洋大	31	(18-9, 13-9)	18	愛媛大
広経大	34	(15-9, 19-10)	19	広島大
愛媛大	25	(15-7, 10-12)	19	広島大
広経大	20	(6-9, 14-9)	18	松山短大
高松大	31	(15-15, 16-10)	25	環太平洋大

※順位 ①高松大5勝②環太平洋大4勝1敗③広経大2勝1分け2敗④愛媛大1勝1分け3敗⑤松山短大1勝4敗⑥広島大1勝4敗(5、6位は得失点差による)

▽2部

岡山短大	35	(18-8, 17-11)	19	徳島大
山根大	33	(12-5, 21-6)	11	高知大
山口大	27	(15-12, 12-14)	26	香川大
岡山短大	36	(18-11, 18-7)	18	高知大
山根大	27	(14-11, 13-13)	24	香川大
岡山短大	30	(16-10, 14-6)	16	山口大
徳島大	29	(15-7, 14-14)	21	高知大
山根大	21	(12-13, 9-7)	20	島根大
岡山短大	26	(12-11, 14-9)	20	島根大
山口大	20	(10-10, 10-10)	20	徳島大
香川大	36	(18-7, 18-8)	15	高知大
香川大	34	(14-11, 20-11)	22	徳島大
山口大	25	(10-4, 15-3)	7	高知大
岡山短大	31	(14-15, 17-13)	28	香川大
島根大	28	(15-10, 13-2)	2	徳島大

※順位 ①岡山大5勝②山口大3勝1分け1敗③島根大3勝2敗④香川大2勝3敗⑤徳島大1勝1分け3敗⑥高知大5敗

▽3部

\* Xリーグ

修道大	32	(18-11, 14-12)	23	高知工大
近大工	17	(6-7, 11-9)	16	鳴門教大
修道大	25	(16-8, 9-9)	17	近大工
鳴門教大	27	(12-11, 15-10)	21	高知工大
鳴門教大	22	(8-9, 14-11)	20	修道大
高知工大	24	(15-8, 9-11)	19	近大工

※順位 ①修道大2勝1敗②鳴門教大2勝1敗③高知工大1勝2敗④近大工1勝2敗(1、2位と3、4位は得失点差による)

\* Yリーグ

広工大	37	(18-5, 19-9)	14	尾道市大
下関市大	33	(14-7, 19-7)	14	尾道市大
下関市大	29	(14-11, 15-10)	21	広工大

※順位 ①下関市大2勝②尾道市大2敗(広工大は申込書不備のためオープン参加扱いで順位なし)

\* 1、2位決定戦

修道大 20 (7-10, 10-7)

1-0, 0-1, 2-0 18 下関市大

\* 3、4位決定戦

鳴門教大 31 (11-7, 20-5) 12 尾道市大

\* 5、6位決定戦

高知工大 32 (17-7, 15-10) 17 近大工

【女子】

▽1部

環太平洋大	36	(23-4, 13-11)	15	川崎医福大
環太平洋大短大	42	(22-14, 20-12)	26	愛媛大
環太平洋大	35	(17-9, 18-10)	19	岡山大
環太平洋大短大	42	(18-14, 24-15)	29	川崎医福大
環太平洋大短大	36	(20-7, 16-20)	27	岡山大
愛媛大	35	(17-9, 18-17)	26	川崎医福大
環太平洋大	27	(15-10, 12-5)	15	愛媛大
岡山大	39	(19-11, 20-13)	24	川崎医福大
環太平洋大	26	(11-10, 15-12)	22	環太平洋大短大
愛媛大	26	(12-10, 14-7)	17	岡山大

※順位 ①環太平洋大4勝②環太平洋大短大3勝1敗③愛媛大2勝2敗④岡山大1勝3敗⑤川崎医福大4敗

▽2部

\* 予選リーグ

松山大	29	(14-11, 15-8)	19	鳴門教大
広島大	37	(13-1, 24-5)	6	合同
広島大	18	(8-4, 10-6)	10	鳴門教大
松山大	36	(17-3, 19-4)	7	合同
合同	15	(7-6, 8-8)	14	鳴門教大
広島大	25	(13-10, 12-7)	17	松山大

※順位 ①広島大3勝②松山大2勝1敗③合同1勝2敗④鳴門教大3敗

\* 1、2位決定戦

広島大 24 (13-6, 11-11) 17 松山大

\* 3、4位決定戦

鳴門教大 20 (9-7, 11-7) 14 合同

(注) 松山の合同は香川、高知、徳島大で編成



5月3日から平和大通りを中心に開かれたフラワーフェスティバル。湧永製菓、メイプルレッズの選手がトップスの仲間と参加、多くの市民との交流を深めた。

3日の総合パレードにはメイプルジュニアも参加し、平和大通りのコースでパス交換をするなど、ハンドボールの楽しさをアピールした。

## 市民と交流 FFに参加

また、平和公園の花の塔そばに設けられたトップスのブース前では、7缶スローのイベントを開き、多くの子どもたちと楽しいひと時を過ごした。

そのほか広島ガスの選手たちを相手にバドミントンにチャレンジするなど和気あいの3日間だった。

なお、花のパレードではトップスが審査員特別賞を受けた。

■お願い■ 「ひろしまハンドボール」は今回で第105号を迎えました。これもひとえに関係者皆様方のご協力があったることと感謝しております。いっそうの充実を図るためには、情報の提供は欠かせません。なんでも結構ですので、皆様からのご意見、ご要望を含めどしどしお寄せいただきますようお願い致します